

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

— 生乳の生産量は1.7%増加 —

生乳の生産量は743万8,218 tで、前年に比べ12万4,688 t (1.7%)増加した。

図1 生乳の生産量の推移(全国)

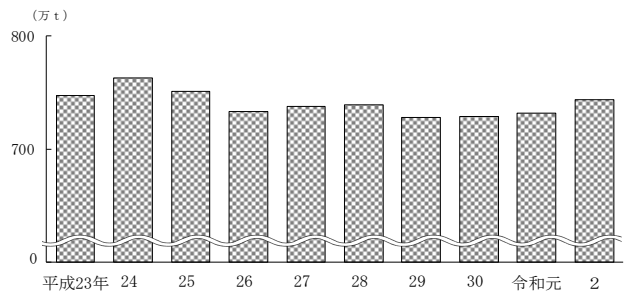
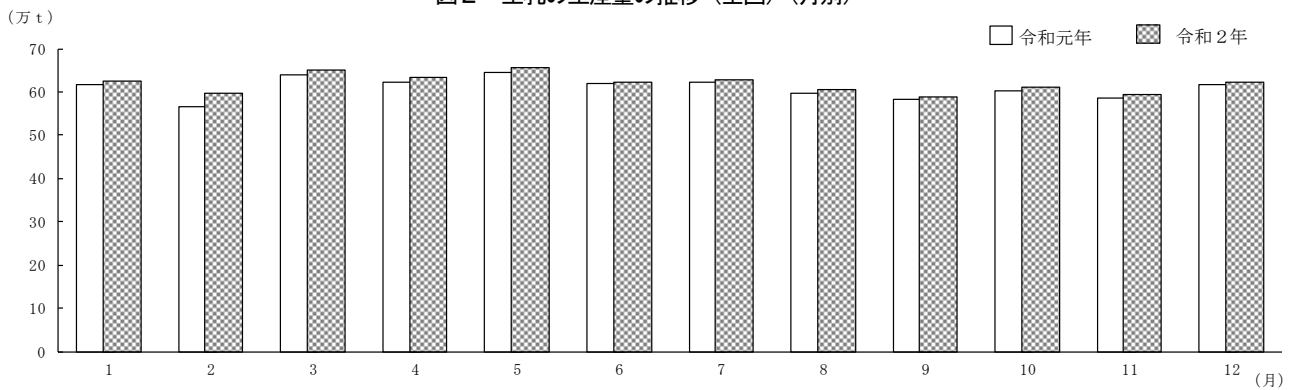


表1 生乳の生産量(全国、北海道・都府県別)

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
令和元年	7,313,530	4,048,197	3,265,333	100.3	102.1	98.2
2	7,438,218	4,153,714	3,284,504	101.7	102.6	100.6

図2 生乳の生産量の推移(全国)(月別)



(2) 全国農業地域別生乳生産量

— 北海道の生乳生産量シェアは55.8% —

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が415万3,714 t (全国に占める割合55.8%)で最も多く、次いで関東が98万3,460 t (同13.2%)、九州が62万1,176 t (同8.4%)の順となっている。

図3 生乳生産量シェア(全国農業地域別)

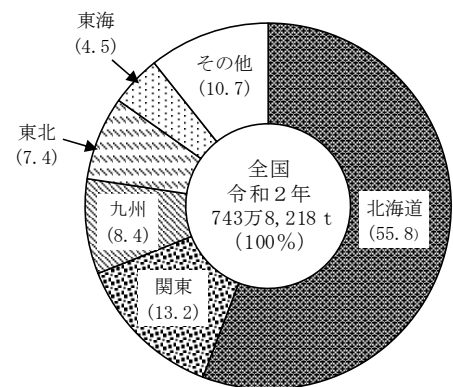


表2 生乳の生産量(全国農業地域別)

年次	単位: t											
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和元年	7,313,530	4,048,197	548,641	75,347	991,738	107,128	339,838	158,520	293,199	113,137	614,605	23,180
2	7,438,218	4,153,714	553,395	74,958	983,460	108,249	334,143	160,898	312,371	112,837	621,176	23,017
対前年比 (%)	101.7	102.6	100.9	99.5	99.2	101.0	98.3	101.5	106.5	99.7	101.1	99.3

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向けは0.5%、乳製品向けは3.2%増加 －

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は401万9,561t、乳製品向け処理量は337万4,111tで、前年に比べそれぞれ1万9,906t（0.5%）、10万4,442t（3.2%）増加した。

図4 牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移（全国）

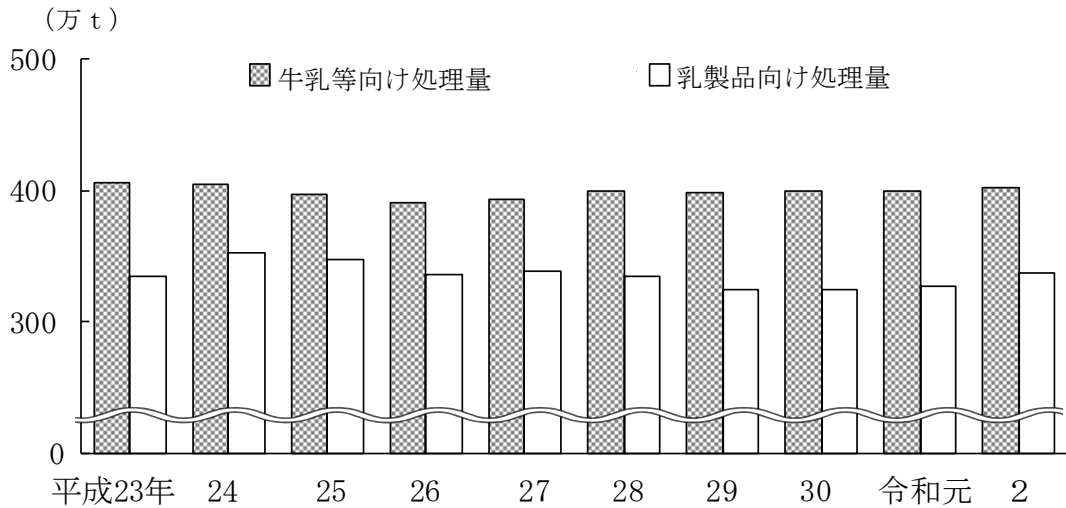


表3 生乳の用途別処理量（全国）

単位：t

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他	欠減
令和元年	7,313,530	3,999,655	346,127	3,269,669	44,206	10,258
2	7,438,218	4,019,561	300,580	3,374,111	44,546	10,120
対前年比（%）	101.7	100.5	86.8	103.2	100.8	98.7

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

ー 牛乳の生産量は0.6%増加 ー

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は317万9,696k1で、前年に比べ1万9,256k1(0.6%)増加し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は39万4,132k1で、前年に比べ1万6,947k1(4.1%)減少した。

図5 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移(全国)

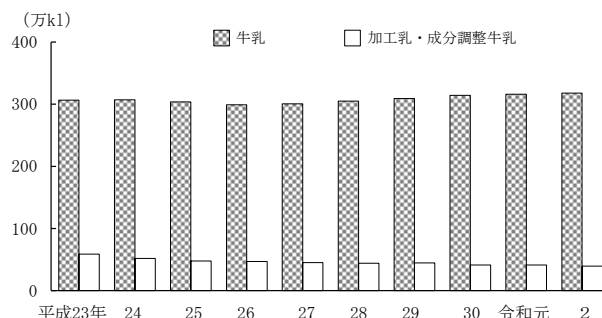
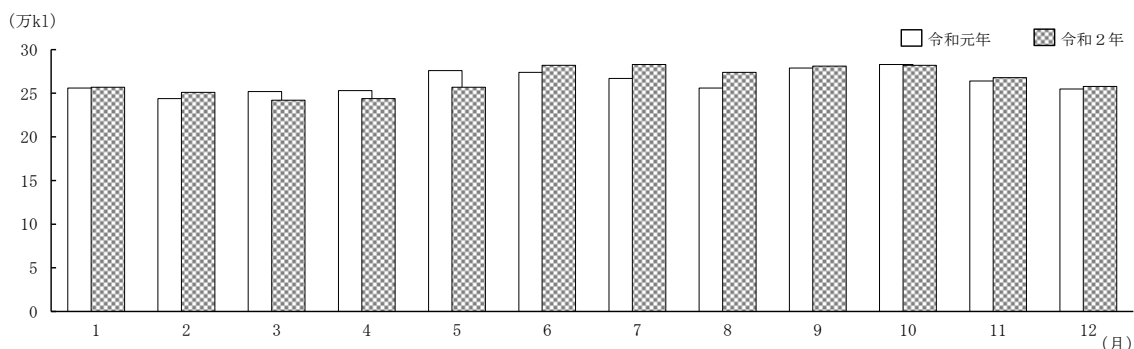


表4 飲用牛乳等の生産量(全国)

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
令和元年	3,571,519	3,160,440	322,321	411,079	58,478	288,215
2	3,573,828	3,179,696	280,924	394,132	42,612	282,329
対前年比(%)	100.1	100.6	87.2	95.9	72.9	98.0

図6 牛乳の生産量の推移(全国)(月別)



(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

ー 関東の飲用牛乳等生産量シェアは30.7% ー

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東が109万7,000k1(全国に占める割合30.7%)で最も多く、次いで北海道が55万6,848k1(同15.6%)、九州が39万6,801k1(同11.1%)の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

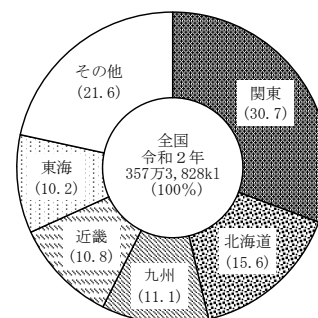


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

単位:k1

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和元年	3,571,519	546,980	241,314	77,129	1,079,126	116,211	366,343	389,919	261,675	81,348	386,049	25,425
2	3,573,828	556,848	228,508	73,612	1,097,000	116,762	363,146	387,678	243,233	85,398	396,801	24,842
対前年比(%)	100.1	101.8	94.7	95.4	101.7	100.5	99.1	99.4	93.0	105.0	102.8	97.7

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量

－ はっ酵乳の生産量は4.3%増加 －

乳飲料の生産量は113万5,137k1で、前年に比べ2万2,173k1(1.9%)減少し、はっ酵乳の生産量は117万5,065k1、乳酸菌飲料の生産量は11万8,957k1で、前年に比べそれぞれ4万8,624k1(4.3%)、1,146k1(1.0%)増加した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

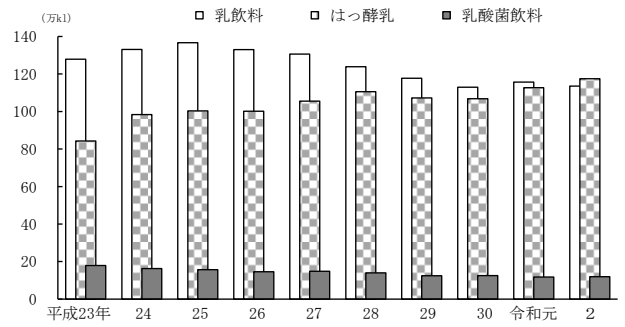
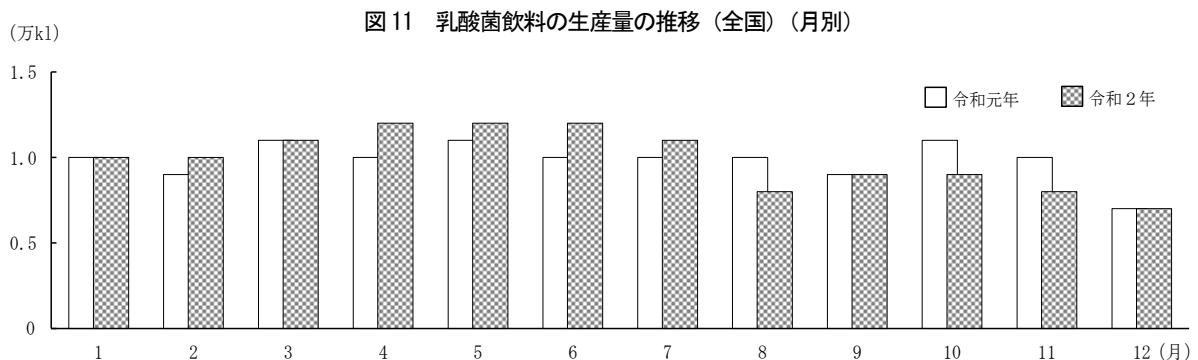
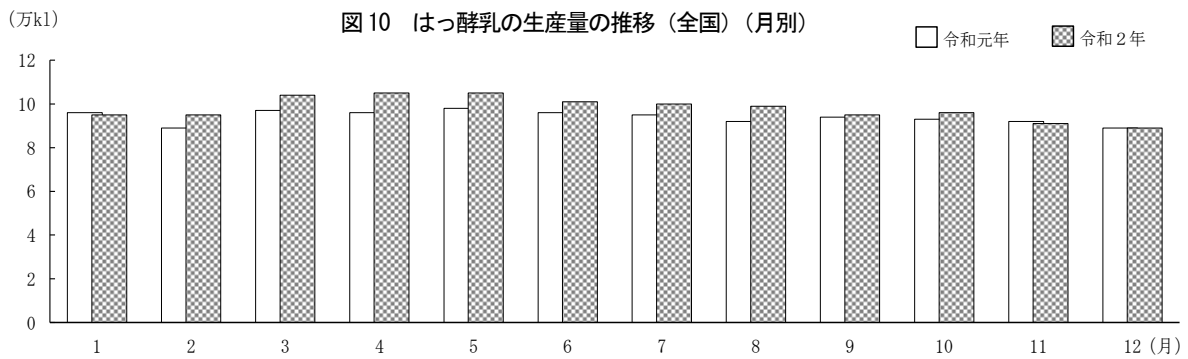
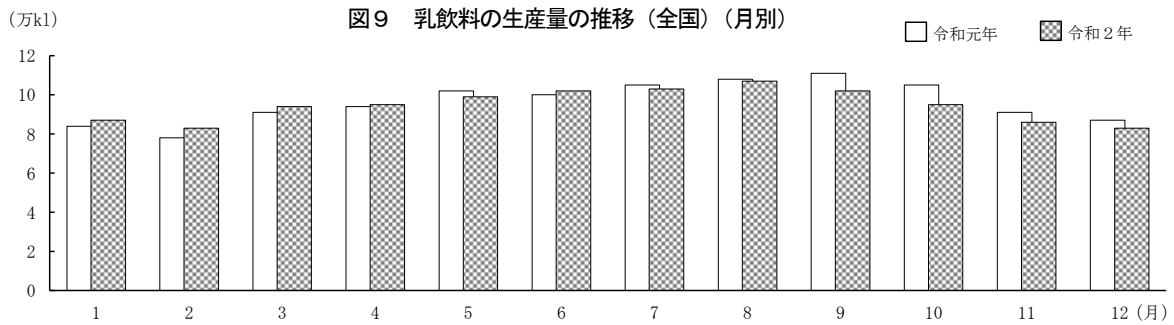


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量(全国)

単位：k1

年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
令和元年	1,157,310	1,126,441	117,811
2	1,135,137	1,175,065	118,957
対前年比(%)	98.1	104.3	101.0



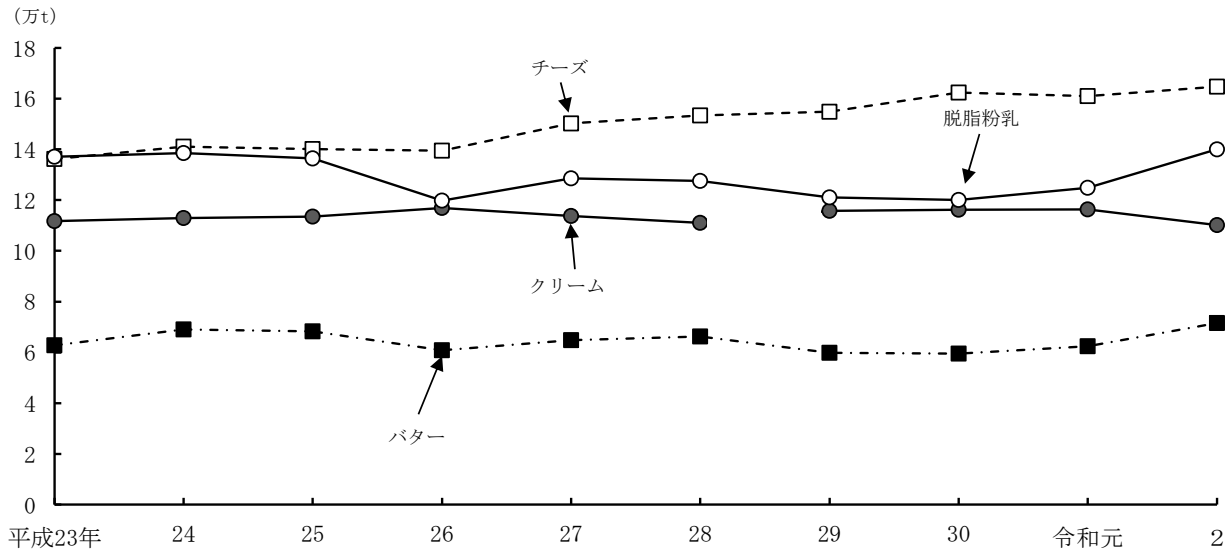
3 乳製品生産量

－ チーズの生産量は2.4%増加 －

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は13万9,953 t、バターは7万1,520 t、チーズは16万4,667 tで、前年に比べそれぞれ1万5,053 t（12.1%）、9,079 t（14.5%）、3,787 t（2.4%）増加した。

また、クリームは11万125 tで、前年に比べ6,172 t（5.3%）減少した。

図12 主要乳製品の生産量の推移（全国）



（ クリームの生産量について、平成28年12月の調査までは、「クリームを生産する目的で脂肪分離したもの」に限定していたところであるが、29年1月以降は、バター、チーズを製造する過程で製造されるクリーム及び飲用牛乳等の脂肪調整用の抽出クリームのうち、製菓、製パン、飲料等の原料や家庭用として販売するものを含めている。このため、28年以前と29年とでは、数値の連続性が保てないことに留意されたい。

表7 乳製品の生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和元年	9,994	124,900	27,336	19,371	62,441	116,297
2	9,067	139,953	28,232	18,859	71,520	110,125
対前年比 (%)	90.7	112.1	103.3	97.4	114.5	94.7

年次	チーズ	直接消費用 ナチュラルチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳	乳脂肪分 8%以上の アイスクリーム
	t	t	t	t	t	kl
令和元年	160,880	29,955	34,203	419	3,831	146,909
2	164,667	31,082	30,329	388	3,321	131,543
対前年比 (%)	102.4	103.8	88.7	92.6	86.7	89.5

図13 脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

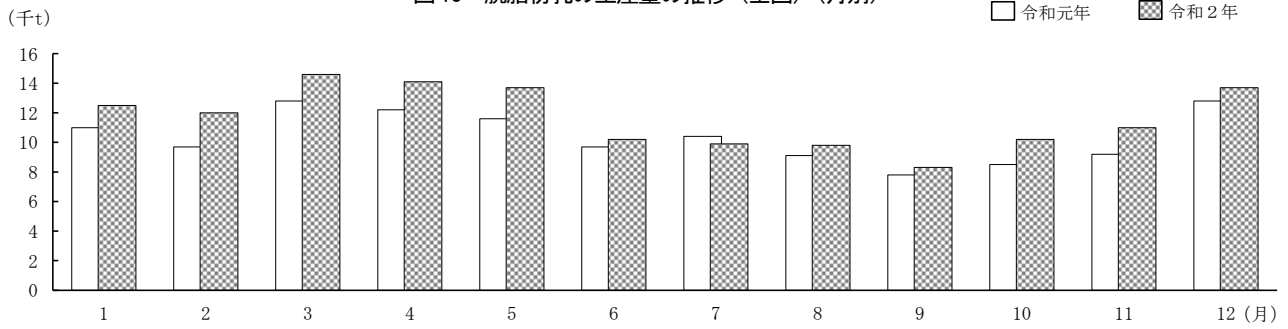


図14 バターの生産量の推移（全国）（月別）

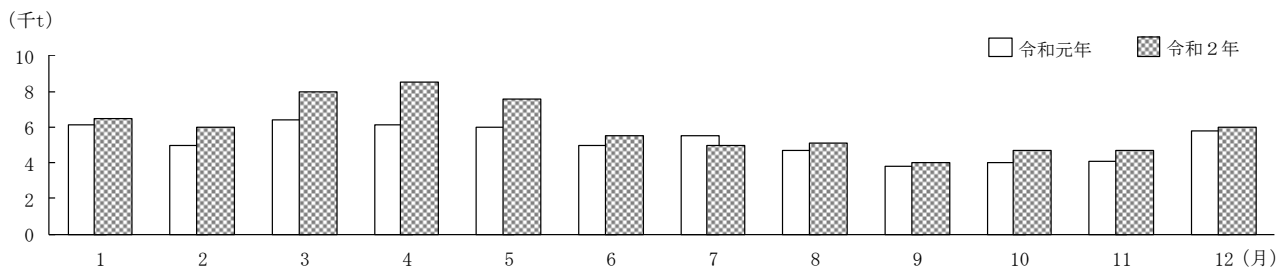


図15 クリームの生産量の推移（全国）（月別）

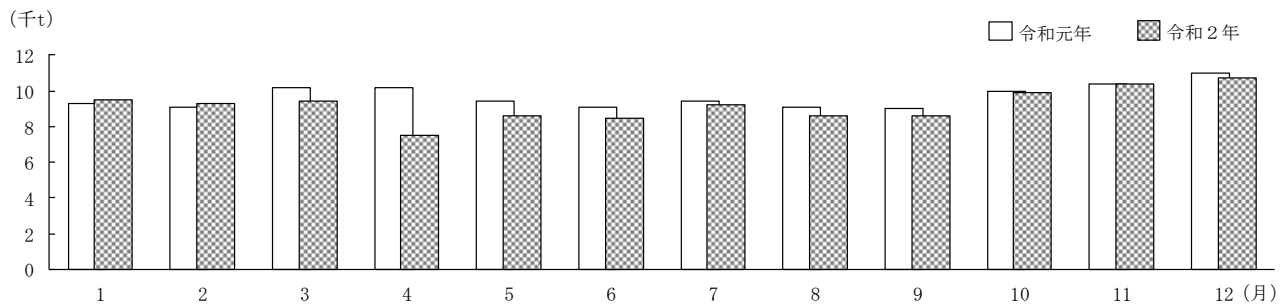
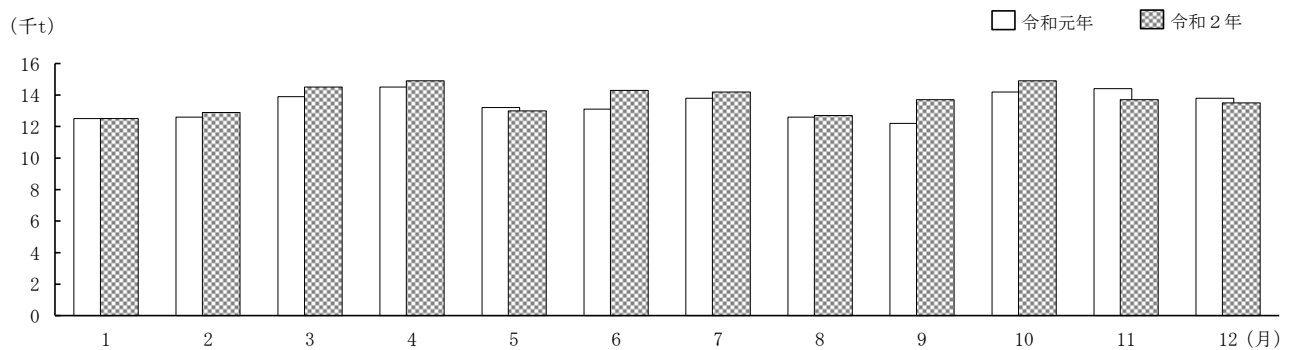


図16 チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

一 牛乳処理場・乳製品工場数は559工場

令和2年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は559工場で、前年に比べ4工場減少した。

生乳を処理した工場を製造種別にみると、牛乳処理場が361工場で、前年に比べ7工場減少し、乳製品工場が138工場で、1工場減少した。

また、生乳処理量規模別にみると、1日当たり2t以上の工場数は、牛乳処理場が191工場で、前年に比べ4工場減少し、乳製品工場が38工場で前年と同数であった。

図17 生乳処理量規模別工場数の推移（全国）（12月31日現在）

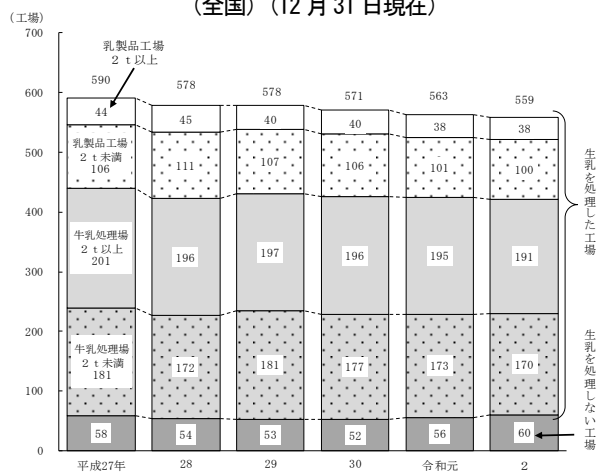


表8 生乳処理量規模別工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

区分	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	2t未満	2t以上	小計	2t未満	2t以上	
令和元年	563	507	368	173	195	139	101	38	56
2	559	499	361	170	191	138	100	38	60
対前年差	△ 4	△ 8	△ 7	△ 3	△ 4	△ 1	△ 1	0	4
構成割合（％）									
令和元年	100.0	90.1	65.4	30.7	34.6	24.7	17.9	6.7	9.9
2	100.0	89.3	64.6	30.4	34.2	24.7	17.9	6.8	10.7

注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある（図18において同じ）。

ここでいう牛乳処理場及び乳製品工場とは、12月における1日当たりの生乳の平均処理量を基に区分し、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」とした。

(2) 全国農業地域別工場数

一 北海道の工場シェアは21.6%

全国農業地域別の工場数をみると、北海道が121工場（全国に占める割合21.6%）で最も多く、次いで関東が114工場（同20.4%）、東北が57工場（同10.2%）の順となっている。

図18 全国農業地域別工場シェア（12月31日現在）

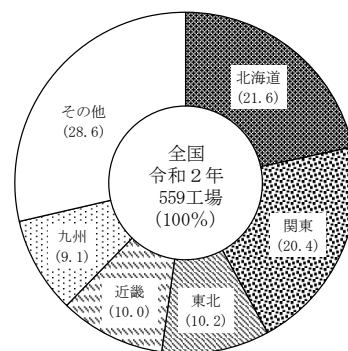


表9 全国農業地域別工場数（12月31日現在）

単位：工場

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和元年	563	119	59	33	114	30	50	57	33	9	52	7
2	559	121	57	32	114	30	50	56	30	10	51	8
対前年差	△ 4	2	△ 2	△ 1	0	0	0	△ 1	△ 3	1	△ 1	1

(3) 製造品目別処理場・工場数

一 牛乳を製造した工場は357工場 一

令和2年1月から12月に飲用牛乳等を製造した工場数は358工場で、このうち牛乳を製造した工場数は357工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は102工場であり、はっ酵乳、乳飲料、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ265工場、206工場、37工場であった。

乳製品を製造した工場数は327工場で、このうちチーズを製造した工場数は182工場、乳脂肪分8%以上のアイスクリームを製造した工場数は122工場であった。

表10 牛乳等を製造した工場数(全国)(12月31日現在)

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳		業務用	成分調整牛乳				
			業務用	学校給食用						
令和元年	366	364	162	194	106	15	60	213	262	38
2	358	357	160	189	102	13	57	206	265	37
対前年差	△8	△7	△2	△5	△4	△2	△3	△7	3	△1

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない(表11において同じ。)

表11 乳製品を製造した工場数(全国)(12月31日現在)

年次	乳製品												
	計	粉乳			ホエイパウダー	バター	クリーム	チーズ	れん乳				乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳					直接消費用ナチュラルチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	
令和元年	322	9	26	5	6	70	75	177	157	22	3	10	122
2	327	10	27	5	5	73	73	182	161	21	2	10	122
対前年差	5	1	1	0	△1	3	△2	5	4	△1	△1	0	0